

砂川小学校 学校経営方針

令和7年4月1日
京都市立砂川小学校
校長 伊藤 卓也

＜学校教育目標＞

「絆」を大切にし、自らの未来を創造する 砂川の子

スローガン：すなおで、なかよし、がんばる、われら！

◇目指す学校像◇

『一人ひとりが輝く 笑顔あふれる学校』

- 子どもの豊かな学びと健やかな成長に向けて、家庭・地域との「絆」の下、信頼される学校
- 砂川小を取り巻く全ての人の願いや思いを実現する、笑顔があふれる温かい学校
- 健康と安心・安全、安らぎと規律のあるバランスのよい学校

◇目指す子ども像◇

「やさしく かしこく たくましく」

育成を目指す
資質・能力

- | | |
|----------------------------|---------|
| ① 相手の思いや意図、伝えたいことを聞き取る力 | (傾聴) |
| ② 自分の思いや考えを表現し、対話を通して高め合う力 | (表現・対話) |

- | | | |
|---|---------------------------------|---------|
| 徳 | 思いやりの心をもち、仲間とともに伸びようとする自律した砂川の子 | (豊かな心) |
| 知 | 夢に向かって自ら学び、他者と協働しながら高め合う砂川の子 | (確かな学力) |
| 体 | たくましい心と体を育み、「いのち」を大切にする砂川の子 | (健やかな体) |

◇目指す教職員像◇

「学校組織の一員として互いに高め合い、ともによりよい学校を創造する教職員」

育成を目指す
資質・能力

- | |
|---|
| ① 子どもの将来を見据え、確かな「生きる力」を育成する力 (授業力・生徒指導力) |
| ② チームとして互いを認め、高め合える豊かなコミュニケーション力と高い組織力
(コミュニケーション力・チーム力) |

- 子どものよさを見取り、それぞれの子どもの可能性を広げるために一所懸命になる教職員
- 育成すべき資質・能力を意識し、子どもが主体的な学びを通して「喜び」を実感できる学校教育を実現する教職員
- 自らの個性を生かし、協働しながら、一人ひとりが主体的に学校運営に関わる教職員
- 謙虚な姿勢を忘れず、子ども・保護者・地域に寄り添いながら、丁寧かつ迅速に組織的に課題解決に向かう教職員